

第8回伊佐市新庁舎建設検討委員会

- 開催日時 平成30年9月26日 13時30分～15時30分
- 開催場所 伊佐市役所大口庁舎 大会議室
- 出席委員 小山委員、丸田委員、中村委員、村田委員、池畑委員、田代委員、曾山委員、岡本委員、左近充委員、沖田委員
- 欠席委員 轟木委員、長野委員
- 事務局 財政課 富満課長、財産管理活用係 釜場係長、向園

===会次第===

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
- (1) 新庁舎建設候補地の検討について
- 4 その他
- 5 閉会

===議事===

- (1) 新庁舎建設候補地の検討について

【事務局】

資料について説明

【委員長】

評価シートを事前に配ってもらっている。今日はこの内容をこの場で確認して、資料1にある委員会集約の結果を確定するというので進めたいが、よいか。

(「はい」という複数の声あり)

【委員長】

委員会としての候補地の選定に入っていくが、候補地を1つで出すのか2つで出すのか、3つ、4つなのかということも含めて、この場でご議論いただくことになるし、そのプロセスをどうやって決めていくかということも議論の結果決めていくことになる。まず全体を振り返ってみて、選定の仕方も含めて、評価に入る前にお気付きの点とか、お話になりたい点があればお願いします。

【委員】

選定は、最初から○が多いところ1か所に決めた方がいいと思う。2か所にすれば、また議論しなければならない。

【委員長】

まずは1か所に決めて議論するという案が出た。

【委員】

決定するのはこの場ではないですね。

【委員長】

委員会として候補地を挙げるということ。最終的には市の判断。委員会としては、ここがふさわしいということを出すことが役目。

【委員】

1か所に決めるよりは、2か所、3か所出して、委員会の評価はこうだったというのを、問題点も併せてはっきり評価を示し、考えてもらうのがいちばんいいと思う。

【委員】

1位から4位まですべてがいいと思う。これだけ検討してこういう結果になったと。

【委員】

みんなで議論したという過程が分かるから。

【委員】

1つでは選択肢がないということになる。2つ3つあれば決定の際に考えを深めることができるのではないかな。

【委員】

全部答申してもいいのかな。

【委員長】

1つにしる4つにしる、場所だけ出す訳ではなくて、1つにしたとしても、ここはこの点で評価された、ここはこの点で心配があるという情報の出し方のイメージ。なぜそこになったのかはある程度説明しなければいけない。複数というときには、比較して考えるということもある。この答申が最終結論になる訳ではないので、複数のなかからメリット・デメリットを判断する方が考えやすいと思う。

【委員】

市民が判断するのか、これは。

【委員長】

最終的に判断するのは市。市民にとっていきなりここと場所が出るよりは、複数あった方がそれぞれの特徴が浮かび上がる面もある。

【委員】

全部答申するという事か。

【委員長】

答申の仕方はいろいろあると思う。4つ議論して2つとし、2つのメリット・デメリットを出すということもある。4つから検討して2つなのか、いきなり2つなのかということも。この場でやりかたは決めたい。

【委員】

2つでは比較できにくいので、せめて3つくらいで。4つでは私たちが無責任になる。3つにして行政も検討して意見もいれられるように。行政が評価した場合は、私たちは

1番が2番になっても構わないのだから。3つくらいの方が行政もやりやすいかも。責任も持ってもらえる。

【委員長】

委員会としてはこの3つが候補地として適するというかたちで出す形式か。4つの検討結果をすべて出したうえで、この3つが適切だと判断したというかたちか。3つであれば○×△は3つになるのかどうか。

【委員】

どちらが普通の答申の仕方なのか。4つのなかから3つを選んだとして出すのか、何か所かあったがこの3つを選んだと出すのか。4つと言ってもすべてのものから選んだのだから。7か所か8か所検討したがこの3つだったというのがいいかもしれない。

【委員長】

委員会としての答申で説明ができるという観点から2つにでも3つでも4つにでもなる。具体的にこの4つで考えていくことで進めたいが、よいか。

(「はい」という複数の声あり)

【委員長】

ふれセン周辺は◎が多いので候補地になるだろうと。合庁周辺は県との調整が未確定なので候補地から外すということもある。重留は評価の判定がいちばん低いという状況はある。大口庁舎には他にはない×があってコスト面で懸念事項があるので落とすかたちがあるかもしれない。どういう理屈で絞っていくかということに関してご意見いただきたい。

【委員】

知恵を絞っての4つなので難しい。それだったら4つ出した方がいいのではないか。

【委員】

4つ出したらいいのではないか。行政としても多様な意見が聞けるかもしれない。

【委員長】

委員会としてはこの評価とともにそれぞれのメリット・デメリット、懸念や議論を併せて、候補地に関する答申として出すという案が出ているが。

【委員】

4か所検討してきたと。このなかではここがベストだという結論でどうかなと。ここも検討したというのは残して、みんなに知ってもらったほうがいいとは思う。

【委員】

4つをメリット・デメリットで出すというかたちだったが、これまでのご意見を踏まえると委員会としての優先順位を付けるということか。そうすると委員会として何を評価しているのかということはある。プロセスとして4つ検討したということと併せて、1つだけ出すことの弊害がでたが、4つ出して委員会としては1、2、3、4という順番を付けるのは、出し方のひとつの案だとは思う。

【委員】

最初は7か所だったが、菱刈庁舎が省かれたのは急傾斜地だったことなど、4つに絞られた経緯も知らせた方がいい。その後、4つを検討してきたと。

【委員長】

4つに絞る前のプロセスも説明する必要があるとのことだが、市民がプロセスを知ることが大事なこと。議論としては優先順位を付けて答申するという案まで出たところだが、この優先順位で市の方で検討されたいというかたちになると。答申の形式としては、いろいろなご意見をいただいたが、4つを評価とともに優先順位を付して答申するというのでいかがか。

(「異議なし」との声あり)

【委員長】

優先順位を付ける作業に入ってよいか。ふれセン周辺は1位になる。そのあとは。

【委員】

合庁周辺。3位が重留。

【委員長】

大口庁舎は×が入っている。重留は若干△が多い。どちらを優先させるかという理由、どちらを相対的に高く評価しているかという理由を考えなければいけないところだが。大口庁舎は×が付いている。つまりコスト面で余計な費用がかかるということで評価を下げるという考え方もありそうだし、重留は広い市有地があって市としての裁量の余地が大きいので、重留を3位、大口庁舎を4位ということでよいか。

(「はい」という声あり)

【委員長】

一旦整理すると、候補地に関する答申としては資料1の委員会集約の表を出して、委員会としてはこのような評価をしたと。その結果、優先順位を、1位がふれセン周辺、2位が合庁周辺、3位が重留、4位が大口庁舎とする。それぞれの敷地のメリット・デメリット、懸念事項について答申するという内容でよいか。具体的に、メリット・デメリット、懸念事項について、どういう内容にすることについては、文言まで決めると時間がかかるので、いくつか挙げていただいて、私の方で引き取って、整理して、次回お示しするという内容でよいか。その場合、是非入れるべき内容があるかと思うので、ここで確認したい。

	ふれセン	合庁	重留	大口庁舎
メリット	地形上の安全 既存の交通拠点 既存の施設 既存の商店街 ふれセンの一体的活用 道路などの基盤が	地形上の安全 既存の交通拠点 既存の施設 既存の商店街	広い市有地	よく知られている

	整備されている			
デ メ リ ット	駐車場の確保 公園の改変が必要	県との交渉を要する	土地の造成が必要 取付け道路必要 既存の施設から離れている 防災拠点としての不安	移転費用がかかる 建設期間の長期化

【委員長】

メリット・デメリットの多い・少ないをみると、優先順位のとおりかもしれない。これらをキーワードに作っていく。次に付帯意見について議論していきたい。優先順位が高いところはふれセン周辺と合庁で市街地の方になっている。重留になったとしても現状より大口寄りになるので、菱刈庁舎をはじめ、菱刈地区の施設の在り方についてご意見があればお願いしたい。

（「さっき言ったとおり」、「決まっていけないのに付けることはできない」、「窓口サービス機能の低下につながらないように」との声あり）

【委員長】

ここでも基本構想の付帯意見と同じ文言を入れることになるか。事務局でメモはあるか。

【事務局】

「本庁舎の建設地によっては、市民サービスの利便性を確保するため、既存施設の活用も検討すること。」と決議いただいている。

【委員】

場所が選定された場合に検討する事項として、場所によっては完全に本庁方式にするのか、出先を置くのかを検討する可能性があるという文章を作ってもらえたらいい。

【委員長】

既に決まっている答申（付帯意見）の文言でその内容も含んでいるという委員会の判断でよろしいか。

【委員】

まだはっきり確定しておらず、優先順位を答申することから、先ほどの文言（付帯意見）でいいと思う。

【委員】

「菱刈庁舎など、既存施設の」と入れるか。

【委員長】

ほかにも図書館とかまごし館とかいろんな施設があるので、（「菱刈庁舎など、既存施設の活用」ではなく）「菱刈庁舎の活用」としてしまうと、今後の検討の選択肢を狭めてしまう気がする。今後庁舎建設が終わった後、伊佐市がやっていくことは公共施設全体をどうしていくのかということ。その時に菱刈庁舎という具体的文言が入ると、や

りにくくなるというか限定される部分がある。念頭には選択肢としてあるが、今回は「既存施設の活用」という文言でいく方がいいと思うが、いかがか。重留になった場合の既存庁舎には大口庁舎も入る。そういう意味では「既存施設」とした方が、後々の検討がしやすいのではないか。本庁方式にすることはする。ただ、これまでの経緯や行政サービス低下の懸念があるので、何らかのかたちでサービスを維持することは考えてくださいということ、答申のなかに入っている…。

【委員】

そういう言い方だと思う。

【委員長】

答申としては、そのような内容・表現になっているということによろしいか。

【委員】

難しい…。

【委員長】

いくつかご議論いただいたが、確認すると「既存施設の活用」というのはいずれにしても付帯意見に出すということだが、その時には「菱刈庁舎など」ということを入れるということによいか。

（「はい」という声あり）

【委員長】

そのときの検討としては、支所まではこの答申では想定せずに、なんらかの必要な窓口と行政サービスを残すこと。

【委員】

その話をする場面は委員会ではないでしょうから。支所の話をする委員会ではないでしょうから。

【委員長】

必要なサービスは何かとか、どういうかたちの提供があり得るのかは、この委員会の諮問事項ではないので、また別のところで議論していただく。ただ委員会としては議論の方向性は必要ということは答申に盛り込むということによろしいか。

今日も長い議論だったが、ざっくばらんな議論ができた。今日いただいたキーワードをまとめて、候補地案の結論をまとめていきたい。ご議論いただき有難うございました。

=====

4 その他

【事務局】

1つ確認させていただきたい。答申には委員会集約の表も付けることでよかったか。

（「はい」との声あり）

7か所が4か所になった経緯は文章に入れるということによかったか。

（「簡単な文章で、絞り込みましたと」、「広く検討したと」との声あり）

===閉会===